

【普及課】

苫小牧市矢代町3丁目1-18

TEL：0144-72-5123

FAX：0144-74-0754

【豊浦事務所】

豊浦町字船見町10 豊浦町役場内

TEL：0142-83-2481

FAX：0142-83-3521



令和4(2022)年度「森と人を育てるコンクール」

「森と人を育てるコンクール」は、適切な森林整備を实践し地域の模範となる優良林分を育てている森林所有者を表彰し、林業技術の向上や森林づくりに対する道民の意識高揚を図るもので、この度、トドマツ・アカエゾマツの部に出展した豊浦町の加藤清氏が奨励賞を受賞されました。

受賞林分は豊浦町美和地区に所有しているトドマツ人工林31年生で、面積2.50ha、平均樹高16.2m、平均直径21.5cm、ヘクタール当たり本数1,100本と良好な成長をしており、良質材生産を目指し適切に管理・育成していることが評価されました。

加藤氏は豊浦町内に約90haの山林を所有しており、そのうち人工林は33haでトドマツが主体です。

枝打ちはエゾシカ被害を防ぐ目的であえて行っておらず、早期からの除伐・間伐が重要であると考え、経営計画により計画的に施業を行っています。また、多様な樹種を植えるなど、自然環境に配慮した山づくりを進めています。

令和5年1月16日(月)に豊浦町で行われた賞状伝達式では、胆振西部森林組合宮武組合長からも、「今後とも地域の見本となる山づくりの実践を」との祝辞をいただくなど、引き続き適切な森林整備が期待されます。



受賞林分(全景)



賞状伝達式

(左から) 村井豊浦町長 加藤氏 宮武組合長

春はヒグマに注意！（やっぱり怖いですね）

○山菜の季節が始まります

長かった冬もあと僅か、日一日と夜明けの時刻は早く、日没時刻は遅くなり春はもうすぐです。

日だまりに顔を出したフキノトウを味噌汁に散らして、春の香りを楽しんだ方もおられることでしょう。これからギョウジャニンニクやタランボ、ウド、ワラビにタケノコ等々山菜獲りシーズンがやってきます。さあ、次の休みには所有林の様子を見がてら、山の恵みを探しに行きますか！

○でもヒグマにはご注意を

・・・と気持ちは山へと向かっていたかもしれませんが、山菜の季節は特にヒグマに注意が必要です。

人身被害が多いのは春と秋。冬眠明けや冬眠前のエサ探しで活発に活動する時期に、ヒトも山菜やキノコを求めて山へ入る機会が増えるため、遭遇する確率が高くなるものと考えられます。

狩猟中を除く平成元年から令和4年7月現在までの人身事故の月別の統計では4月と10月が特に多く（右グラフ参照）、被害者の53%が山菜やキノコ採りの方となっています。

近年、報道でも頻繁に出没が報じられ、里山から畑さらには市街地にまで姿を現し

人に危害を加えるといった事故も発生しています。北海道のヒグマの推定生息数は、平成2年度の5千頭前後から令和2年度には1万1千頭前後へと増加傾向にあると考えられています。

数が増えることで、人と出会ってしまう機会も当然増えることになります。

○万一、山で出会ってしまったら・・・

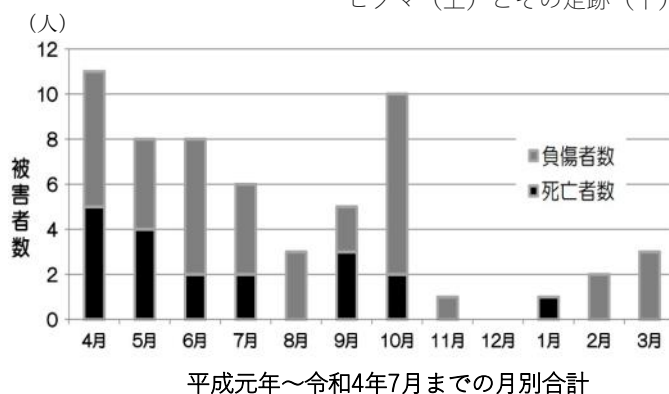


結論から言うと、残念ながら絶対的な防衛策はありません。

人身事故の多くが「突然の遭遇でビックリして」とか「子グマを守るため」といった（クマから見た）防御的攻撃とされており、まず出会わないことが何より重要です。ヒトの接近を知らせるホイッスルやクマ鈴などの鳴り物の携行が推奨されます。なお、せっかく使うなら山林用のものをおすすめします。音の響



ヒグマ（上）とその足跡（下）



きが段違いです。

それでも出会ってしまったら・・・「にらみ合いながらゆっくり後ろに下がる」と言いますが、さて、数m先までクマが迫ってきた時にそんな余裕が持てるかどうか？そんな時の拠り所になるのが通称「クマ避けスプレー」です。

濃縮した唐辛子の辛味成分をクマの顔面に向けて噴射するモノで射程距離は4～5mです。

たかが5mされど5m。ナタを振り回し取っ組み合うよりはだいぶ心強いと思います。少々高価なのに有効期間が数年と短く、さらに操作を誤り中身が自分にかかってしまう事故（かなり悲惨なことになります）もしばしば聞かれます。このため「使用するときは風上から」「いざ！の時まで安全装置は外さない」など制約も多々ありますが、万一に備えて携帯する人は徐々に増えているようです。



左：3連・中：2連のクマ鈴
右：クマ避けスプレー

以前、森林組合の方が林分調査中、大きな倒木を乗り越えたら反対側の陰でクマが昼寝していたそうで「あやうく踏んづけちゃうところだったよ」と笑っていましたが、本当に踏んでいたらどうなっていたことか。皆様も山に入るときにはヒグマへの備えをしっかりと、必ず複数人で行動しましょう。楽しい山菜シーズンを過ごされますようご祈念いたします。

令和4年度北海道産業貢献賞受賞

北海道産業貢献賞森林づくり功労者の表彰式が、昨年12月20日に札幌市で行われました。胆振管内からは北海道指導林家の八幡克さん（むかわ町）がこれまでの山づくりへの取組や、北海道指導林家として林業技術の普及・啓発に尽力されてきたことが評価されての受賞となりました。

表彰式には出席できなかったため、後日森林室普及課長から賞状が伝達されました。



賞状を手に
八幡克さん



研修会で、自分で考案したしいたけほだ木への植菌作業用テーブル（ほだ木を容易に回転させたり、左右にスライドできます。）を説明



シイタケのほだ場

春の山菜

【蝦夷の立金花】

名前の立金花は、直立した花茎に黄金色の花を咲かせることに由来します。

開花前の若葉や茎葉、若芽を食用とします。

下ごしらえをして、おひたしや、炒め物等で食します。



【行者にんにく】

春の山菜の王様といっても過言ではない人気の山菜ですが、その生長には長い時間がかかります。小さな物は採取しないようにしましょう。

食べ方は、漬けたりゆでたり炒めたりと万能です。

【あずきな】

岐阜県飛騨高山周辺では「南天萩」のことを指しますが、北海道では「ゆきざさ」の呼称となっています。

どちらも茹でたときに小豆に似た香りがすることに由来します。おひたしが美味。



【ふきのとう】

早春、土中から顔をだす「春の使者」。冬眠から目覚めたクマが最初に口にする食べ物ともいわれます。

つぼみがまだ固く閉じている小ぶりの物を食用とします。

最近の木材市況

～ 道林業木材課調べ (2023年1月) ～

【道内の原木流通の動向】

- ・トドマツ原木は、概ね順調に入荷しており、地域によっては潤沢な在庫となっている。市況は弱保合～強保合。
- ・カラマツ原木は、依然として入荷が少ない地域も多く、在庫不足は解消されていない。市況は保合。
- ・チップ原料材は保合～強保合。

【胆振管内工場着価格】

樹種	材長 (m)	径級 (cm)	m ³ 当たり単価 (円)	前月差 (円)	100石当たり単価 (円)
カラマツ	3.65	9～13	7,100	0	197,380
		14～18	8,800	300	244,640
		20～28	10,200	0	283,560
		30～	11,000	100	305,800
	パルプ	5,900	0	164,020	
トドマツ	3.65	14～18	9,900	0	275,220
		20～22	11,500	0	319,700
		24～28	12,200	0	339,160
		30～	12,400	0	344,720
広葉樹	パルプ		8,800	0	244,640

注) 前月差欄の△印は、値下がりを示す。